

従来の高負荷脱窒素処理方式に、厨芥ごみ処理を導入。最新技術で汚泥の固形肥料化を実現しました。

受入貯留設備

搬入された、し尿や浄化槽汚泥がスムーズに処理されるように前処理を行います。



受入室

し尿、浄化槽汚泥はそれぞれの受入口へ投入します。出入口ドアは自動開閉し、臭気が外へ漏れないようにします



処理室

前処理されたし尿や浄化槽汚泥は、無希釈で処理されます。多槽式の反応槽の組み合わせにより、活性汚泥の動きで有機物、窒素分を高度に分解除去します。処理液は汚泥濃縮分離機により分離後、高度処理設備へ送ります。分解に必要な空気は高濃度臭気を用い、生物脱臭しながら効率よく処理します。

主処理設備

高度処理設備

主処理水に凝集剤を注入し、りんやCODを除去します。さらに活性炭吸着塔でわずかに残る色度成分までも除去し、無色透明無臭の処理水を導くことができます。処理水は減菌後放流します。



トラックスケール
集められてきたし尿や浄化槽汚泥を計量し、計量データはコンピュータにより集計されます。



前処理設備
し尿、浄化槽汚泥に含まれる、紙、布、ビニールなどの夾雑物を取り除きます。



ポンプ室



砂ろ過・活性炭吸着塔設備

汚泥処理設備

処理により発生する汚泥と前処理で発生するし渣を処理します。全量を乾燥焼却するのではなく、汚泥の一部はコンポストとして農地還元されます。



汚泥脱水機
主処理と高度処理で発生する汚泥は一緒に脱水機により脱水されます。



焼却炉
脱水汚泥やし渣を焼却します。汚泥の一部は乾燥汚泥としてコンポスト設備へ送ります。

コンポスト設備



コンポスト設備
給食センターの生ゴミと乾燥汚泥を混合して微生物の力により発酵させ、コンポストを製造します。

脱臭設備

臭気はすべて吸引し、外部に漏れないようにします。吸引された臭気は臭気濃度ごとに効率よく処理します。



脱臭設備

その他の設備



中央監視室
中央監視室では施設全体の運転状況が、コンピュータにより監視され効率のよい運転管理を行っています。



分析室
きびしい放流規制値を維持するために必要な水質分析を行います。

センター周辺の史跡



妻沼聖天山本殿



能瀬寺(あじさい寺)



荻野吟子史跡



妻沼グライダー滑空場



南河原石塔婆